



立春も過ぎ、晴天に恵まれたが未だ風は肌を刺す。参集殿には早い時刻からの会場に百人余が集った。今年は皇紀二六七八年、建国にちなんだ神武天皇のご即位時の話、帝王学への先人の思いなどを聞く。PKO活動の話では現役三佐による「我らの美しい祖国・日本のために」と遠い南スーダンから祖国への思いを聞かせていただいた。ま



た、女性として「皇居の清掃奉仕」を通じて垣間見た両陛下のお人柄、優しさ「部屋は入ってこられる際の清らかな気を感じた」と柔らかな雰囲気でも強い意志を語っていただいた。

## 二、神事・奉祝式典

午前十一時から

建国祭は泉宮司祝詞奏上、代表の御榊奉納が終わると参列者一同が君が代を斉唱し「奉祝式典」を開催した。実行委員長挨拶、国会議員、県会、市会議員らが祝辞。また来賓の紹介が進む。参加者には配られた日の丸が振られ、檜原神宮遙拝などへと進んでいった。

当日は姫路マラソン大会が開かれマラソン姿で祈願に訪れる人も多かった。今年も霊友会による暖かいうどんの販売所も賑わった。

宮司が神事後「今日は、ここ社頭でゆつくりと建国の思いに慕っていただきたい」と挨拶されたのが何時までも残っている。

(中・西播磨支部事務局 H・I)

## 《平成三〇年 新春初詣》

### 北播磨支部

恒例の新春初詣を二月二十四日(土)に行いました。

早朝快晴の下、会員三一名が参集しました。行きのバスでは、日本会議設立

二〇周年記念大会のDVDを鑑賞して、憲法改正への取組等について研修しました。

今年の初詣先は、奈良県桜井市にある大神神社でした。日本一といわれる

大鳥居をくぐり、神聖静寂な本殿にて正式参拝を行いました。大勢の参拝客がおられました。

また昼食後には、世界遺産 法隆寺を見学。学術員の皆さまにお世話になり、約一時間、歴史研修を行いました。帰りのバス

の中では、一層日本の歴史の深さについての議論が展開されました。親睦を兼ねた新春初詣でしたが、さらに会員の憲法改正への士気が高まった研修でした。

(北播磨支部運営委員長

河原 淳)

